

## 専攻科福祉専攻(介護福祉士養成課程)への思い

### 「卒業してからの私」

私は、10回生福井愛香里です。

私は豊橋創造大学短期大学部を卒業して、10年目を迎えます。現在は、愛知県内のあま市のケアハウスに勤務し80名の要支援者や要介護2程度の比較のお元気な方の支援に関わらせていただいています。

ケアハウスの皆さんは、自分の命の終わりをどこでどのように過ごすかを自ら決めており、長年住み慣れた我が家を離れてきています。それでも、コロナ禍が続くなかで、さまざま不安に出会うときがあり、そんな時は、じっくり話を聞いて一緒に考えよう心がけています。これも、大事な高齢者の自立支援の介護だと思っています。

以前、私は重症病棟の介護に携わった経験がありましたが、その時、医療が優先され、快適でその人らしい時間や生きがいのある時間がなく、ますますパワーレスしていくご利用者さんに何もしてあげられず、悲しい気持ちになりました。

だからこそ、目の前の高齢者方々の気持ちに寄り添い、元気なうちから入所して来られたご利用者に対してトイレ介助でも、自立や安全を考え、できるだけ自分で歩けるように配慮したり、認知症があって不安にならないように、見慣れたものを置いたり、話をじっくり聞いたり、どんな世界にいるのか関わったり、つまり、利用者の心身の状況の変化に気づけるようにこころがけています。

### 後輩の皆さん

専攻科福祉専攻は、人生のターニングポイントです。

みなさんが学ぶ介護は、決して、簡単ではないかもしれませんが、今後の人生に必ず役立つことになるはずです。

2021年12月

10回生 福井愛香里